

刊 夕 行發日三十月五 定額二角五分 零售一角五分 郵費在內 全年十六元 半年八元 半年以上全年以下者 按日計算 郵費在內 印刷部 印刷部 印刷部

齋藤茂吉小論 (六) 鳥田忠夫

以上、長々と故芥川龍之助氏の文章を借りた。おが齋藤茂吉先生を、歌人として有名ならしめたものは、芥川氏の文中にもあつた。赤光である。

平詠物集 小鹿角夫

空わたる鳥にこころはなかりけむさかけにけり安藤公に いそのかみ名をとろかし公のうへ鳥糞するは惜しと思ふ

花をかなしむ 好間麻井義秀

柔らかな春の午睡は 麥畑の微風に私を天國に送る

拍華微笑 湯を喚びかけて 居る湯本町民

大小輕重の語を 實際で行つた部 下駄下のオンパ 泣き上戸と云ふ

元禄名妓傳 小島井小八

お照は何のため人の慰息を窺つて深夜お廊下へ立出た

生花教授 生花、盛花、投入自然

定める積り、帯の間にわたる鼻と口とを一度に押へた

度量衡計量器 素吸入器

度量衡計量器 素吸入器 関内薬局

長靴と防水マント 小學生用 0.65 ユロ 小學生用 0.95 ユロ 5丁目電353番 モリタヤ洋品店

お醤油は ヤマフル 味噌醤油 たひら正宗 山崎合名會社 福島縣 平町 電話(本局)二七番

婦人子供洋服科新設 生活改善は先づ衣服から! 御覽なさい、學校に通ふ児童、路傍で遊んで居る子供は大部分は洋服姿ではありせんか、近き將來には家庭の婦人までが洋服化せらるゝ時機も到る事を思はれます

四尺(七貫)から六尺(廿)迄 た角力小人島

甲種合格百分比三二・九七 石城の壯丁検査成績

石城郡の徴兵検査は五日より	江名	四六・四三〇・〇	夏井	三二・四・一三
福島縣隊司令部官陸軍大	鹿島	二七・九三三・三	湯本	四九・一一二・二四
佐佐藤正、地方事務官兵事	高久	三三・九二八・八	内郷	六九・二九四・二〇
課長山田源三、縣屬鈴木未	大野	五〇・一九三・〇	△一乙八五△丁二三四	
太郎氏外既報軍醫官其他未	川前	二六・八三〇・〇	三丙三八五△丁一五△	
平し平第一小學校講堂に於	上小川	四九・二二・四二	戊一計一五八(昨年	
て執行十三日午後二時全	平窪	三七・一一二・九	甲六二六〇△乙二二三△	
部終了したのが受検人員千	澤渡	三二・一四三・八	乙二四六△丙四一五△	
五百五十八名(昨年より八	豊岡	四九・一七三・五	丁一三〇△戊一計一六四	
十四名減)中甲種合格五百	好間	三八・一〇二・六		
二十九名この百分比三三・	飯野	三七・一三二・五		
九七に當り全体を通じて一				
番成績良好なのは泉村で神				
澤渡、錦之れに次ぎ川部、				
夏井の僅に一、三が最低で				
ある各町村別受検者数及甲				
種合格同百分率次の如し、				
因にトホホーム患者は重中				
輕合計二百八名で昨年より				
五十九名減じ優良町村は好				
間の二、六並に川部の				
名濱の二、六並に川部の				
二五、〇で又花柳病患者は				
梅毒二名、淋病十三名計十				
五名で之が筆頭が草野四名				
で昨年と比較すれば總体で				
八名の減身長の最大が一米				
八三(六尺一寸餘)最少が				
一米二六(四尺一寸九分)體				
重が最大七十六キ、(二十				
貫二百七十キ)最小が二十				
六キ(六貫九百三十キ)と				
云ふ興味ある数字を示して				

湯本上水道起債 大蔵省全部通過

縣經由の正式指令は 約十日間後の見込

湯本上水道工事費三十二萬七千五百圓の指令に接するの味覺道樂進を大に嬉しがらる。同所では去る一月十七日、從成胡瓜落合丁號及張ヶ谷各種一梓(幅四尺長二間)の温泉浴場を開始し、去る八日初收以來一昨十一日迄の間に於て前者は八十七名後者は百四十餘名を収めた一本三錢五厘平均で平均の需要量へ直接供給し下り物に比し、新鮮で格安な處から大に歡迎されてゐるが本年最初の試みである張ヶ谷各種訪れた愉快な訪客は、長大且つ形状の均齊が、一キト色の旅行服を着けたとれ而もその収量に於て、健康そのもの、如き青年、從來栽培しつゝた落合、むむや其の刺には、青年旅の予らは快い心臓の鼓動を一隅に於て始められた立ち、覺え乍ら微煙の氣を花に吐廻りの場所に雪崩れて行つて今更湯山の櫻花に酔眼した。

陳情請願を決議

東北六縣酒造組合會に 石城から四家氏が出席

東北六縣酒造組合會第三回何れも地方の當業者に重大貫二百七十キ)最小が二十六キ(六貫九百三十キ)と云ふ興味ある数字を示して

温泉 その頃の湯本

湯山に漲る秋歌のさざたたる職工。それ等は各が、植田 四七二〇 四二六〇、それは其の年の春附じ花下に打ち寛いで、上遠野六一一九三、職工に對する慰安デーもある湯本藝者の情たる巧笑、赤井 四一五三六六、今日のみを無禮講な晴れたる美日は更に一段の、神谷 四三二〇 四六五五、観望を眺め花下を遊んで、解放された、小名濱八四二二、三四五で催した當日觀音山の公園一日を、遊んだ、磐崎 六四二二 三三三、見られた光景である。易に盡くくも思はれな、永戸 四〇一一 二七五、見られた光景である。易に盡くくも思はれな、四倉 四五一二 二六七、見られた光景である。易に盡くくも思はれな、大浦 五一四二 二七五、見られた光景である。易に盡くくも思はれな、玉川 二八二二 四二二、見られた光景である。易に盡くくも思はれな、平町 一三八四 〇二九、見られた光景である。易に盡くくも思はれな、

味覺の初夏に 清新な促裁もの

昨今頻りに出廻る

縣農事試験場石城分場生産に係る促成栽培の胡瓜や茄子が昨今頻りに平町の一流料理屋邊に送られ地廻りの味覺道樂進を大に嬉しがらる。同所では去る一月十七日、從成胡瓜落合丁號及張ヶ谷各種一梓(幅四尺長二間)の温泉浴場を開始し、去る八日初收以來一昨十一日迄の間に於て前者は八十七名後者は百四十餘名を収めた一本三錢五厘平均で平均の需要量へ直接供給し下り物に比し、新鮮で格安な處から大に歡迎されてゐるが本年最初の試みである張ヶ谷各種訪れた愉快な訪客は、長大且つ形状の均齊が、一キト色の旅行服を着けたとれ而もその収量に於て、健康そのもの、如き青年、從來栽培しつゝた落合、むむや其の刺には、青年旅の予らは快い心臓の鼓動を一隅に於て始められた立ち、覺え乍ら微煙の氣を花に吐廻りの場所に雪崩れて行つて今更湯山の櫻花に酔眼した。

加工品生産 毎は下旬頃

順調に發育中

大蔵にして味覺豊かに、同場自慢の一つであるスト、リイは今年の植えつけが、他農産物加工品の研究的生産従来より稍々少く約一段歩産を續けて来たが本年からは新にトマテ、ナスと、箱の罐詰製菓、なつてゐると云ふが本縣が本縣あり、依然各家庭が根拠をさせられてゐる、よきな有様であるが最近次の如き毛色、會津の民情習俗に於て、平町に現れ、して且つ人々が謀議の美二三の家庭に於て少からず、大に學ぶべき點があり、般を以てせうあらしめ度、いと痛感した、と語つてゐた。因に前記第二行程から引續き、南洋諸島より巡歴歴訪、南洋旅行一周へ、の第三行程に入る事になつてゐると、一世の快男兒野、場茂(三)君の前途に幸福、れ、

世界一周計劃の途中 本社を訪れた野場君

既往三年の第一行程を了し 飽迄壯圖の達成を意氣込む

元山坑務所長吉本眞一氏は先年來永く歐米各地を視察旅行中の此程無事、朝東京市麻布區本村町一三、成瀬左の如し、佐藤藤藏二千九百九圓、菅波波助千九百七十八圓、佐藤藤藏千八百三十三圓、長谷川豊之助千八百三十三圓、古河平千七百七十七圓、河川金重千六百九十圓、岡田金重千六百九十圓、長田憲治千五百二十八圓、遊覽團體募集、四倉驛に好間村會議員大河原茂平氏、於ては二十五日より二十、嚴父太郎氏は永く病氣の、九日迄五日間に渉る仙臺運、處運石効無、今、四時半永、輸事務所主催、成田、東京、眠した氏は村議其他の公職、日光、中野寺湖遊り團體募集に就き地方の爲貧乏少なか、集中であるが同募集人員らざりし人行年五十三歳十、は十名の見込に於て會費十三、五日午後二時自宅出棺、山龍雲寺に於て告別式を執、行する、

吉本氏歸朝

元山坑務所長吉本眞一氏は先年來永く歐米各地を視察旅行中の此程無事、朝東京市麻布區本村町一三、成瀬左の如し、佐藤藤藏二千九百九圓、菅波波助千九百七十八圓、佐藤藤藏千八百三十三圓、長谷川豊之助千八百三十三圓、古河平千七百七十七圓、河川金重千六百九十圓、岡田金重千六百九十圓、長田憲治千五百二十八圓、遊覽團體募集、四倉驛に好間村會議員大河原茂平氏、於ては二十五日より二十、嚴父太郎氏は永く病氣の、九日迄五日間に渉る仙臺運、處運石効無、今、四時半永、輸事務所主催、成田、東京、眠した氏は村議其他の公職、日光、中野寺湖遊り團體募集に就き地方の爲貧乏少なか、集中であるが同募集人員らざりし人行年五十三歳十、は十名の見込に於て會費十三、五日午後二時自宅出棺、山龍雲寺に於て告別式を執、行する、

吉田眼科病院

吉田眼科病院、平町、昭和六年五月十三日、御通知申上候、追而、五月十五日午後二時、宅出棺、山龍雲寺に於て告別式相可申、候、以上、

吉田眼科病院

吉田眼科病院、平町、昭和六年五月十三日、御通知申上候、追而、五月十五日午後二時、宅出棺、山龍雲寺に於て告別式相可申、候、以上、

吉田眼科病院

吉田眼科病院、平町、昭和六年五月十三日、御通知申上候、追而、五月十五日午後二時、宅出棺、山龍雲寺に於て告別式相可申、候、以上、

吉田眼科病院

吉田眼科病院、平町、昭和六年五月十三日、御通知申上候、追而、五月十五日午後二時、宅出棺、山龍雲寺に於て告別式相可申、候、以上、

開業

耳鼻、咽喉科、専門
平町南町 (元真木辯護士跡)
増田耳鼻科醫院
(入院隨意)

産科

午後宅診
午後往診
入院應需
花柳病科
井阪醫院
平町田町 (元合津醫院跡)
電話五五九番

診療時間線上

診察時間線上
午後七時より
午前八時より
難波醫院
醫學博士 難波 院
平町新川端(釜屋新宅向)
電話五〇二番

藤沼醫院

内科、小兒科、入院應需
藤沼醫院
電話 平町 電話五〇七番

釜屋商店

警城町、町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は、の生命なり

良品廉賣に勝る

商略なし
警城町、町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は、の生命なり

御通知申上候

追而、五月十五日午後二時、宅出棺、山龍雲寺に於て告別式相可申、候、以上、

吉田眼科病院

吉田眼科病院、平町、昭和六年五月十三日、御通知申上候、追而、五月十五日午後二時、宅出棺、山龍雲寺に於て告別式相可申、候、以上、